

外来 地域の皆様のかかりつけ機能を有しております。
いつでもご相談ください。

脳神経外科

循環器内科

内科

脳神経内科

整形外科

皮膚科

頭痛外来

下肢静脈瘤
むくみ外来

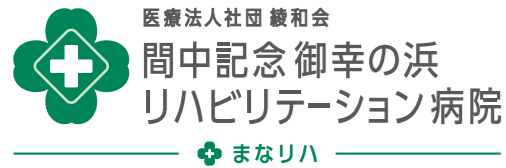
診療科ごとに診療日が
異なります。
必ずホームページを
ご確認ください。



健康診断 / インバウンド診療

当院では、MRI、CTなどの設備を備えており、
専門的な脳健診を始めとした健康診断を行っ
ています。
また、訪日外国人を対象とした英語での診療を
提供しています。

料金表	※ 保険適用外(自費診療)となります。
■ スマート脳健診	19,800円
■ 脳健診	33,000円
■ スマート脳健診 (プラス認知症AI診断 SupportBrain)	40,000円
■ 脳健診 (プラス認知症AI診断 SupportBrain)	44,000円
■ 健康診断	14,770円



開院 明治39年(1906年) 5月1日
 病院長 野村 文一
 診療科目 内科(循環器内科、一般内科)、脳神経外科、整形外科、皮膚科、
 脳神経内科、リハビリテーション科、
 専門外来:頭痛外来、下肢静脈瘤・むくみ外来
 病床数 82床(地域包括医療病棟26床、回復期リハビリテーション病棟56床)
 ※建て替え中のため8床休床

神奈川県小田原市本町4-1-26

- 電車でお越しの方
JR・小田急・箱根登山・大雄山各線・小田原駅東口より
伊豆・箱根方面行きのバス(箱根登山・伊豆箱根)で
約7分「御幸の浜」下車 or 小田原駅より徒歩15分
- お車でお越しの方
小田原厚木道路 荻窪ICより10分
小田原厚木道路 小田原西ICより10分
西湖バイパス小田原ICより10分



ご予約・お問い合わせ

☎ 0465-23-3111 (代)

受付時間 9:00~17:00 (月~土)

入院相談・福祉相談

☎ 0465-43-8730

訪問診療

☎ 0465-46-8255

間中記念 御幸の浜
リハビリテーション病院

MANAKA MEMORIAL MIYUKINOHAMA REHABILITATION HOSPITAL



医療を通じて、
地域共生社会を創る

在宅復帰率
80%超

365日
リハビリ対応



医療法人社団 緩和会
間中記念 御幸の浜 リハビリテーション病院

当院は365日提供の多角的なリハビリを主軸に、入院から退院後まで一貫した医療を実践しています。

小田原の地で皆様の健康を支えます。



365日のリハビリテーションで「治したい」想いに、寄り添います

脳卒中や骨折などの治療において、リハビリテーションの効果を最大化するには「早期から」「切れ目なく」継続することが重要です。「週末だからリハビリがない」という空白の時間は、身体機能の回復を遅らせる原因にもなりかねません。当院では、土曜・日曜・祝日を含む365日体制でリハビリを実施。患者様の一日も早い社会復帰を目指し、立ち止まることなくサポートを続けます。



入院から退院後まで、切れ目のないサポートを

訪問診療と地域包括医療病棟が連携し、入院から在宅まで切れ目のない医療を提供します。外来や救急からの入院でも、退院後の生活まで安心して過ごせる体制を整えています。

当院の特徴



身体拘束ゼロで患者さまの尊厳を守る

当院では、患者さまの尊厳を守り自立を支えるため「身体拘束ゼロ」を掲げています。自由な動きを大切に、安全な環境と細やかな見守りで、自分らしい回復を全力で支援します。



会いたい家族に会えるペット面会 その喜びが明日への力に

当院では事前予約制にて、わんちゃん・ねこちゃんとの面会を実施しています。ペットとの触れ合いは、患者様の心を癒やし、回復への意欲を高めます。

小田原と共に120年。
これからも一丸となって、
まちづくりに貢献する病院で
あり続ける。



院長挨拶

地域に寄り添う医療を大切にし、入院・外来から在宅まで幅広く対応。地域包括ケアの充実を図り、安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいります。

医療法人社団 綾和会
間中記念 御幸の浜 リハビリテーション病院 院長
野村 文一

「まなリハ」って呼んでください!

間中病院は、2026年4月に「間中記念 御幸の浜 リハビリテーション病院」になりました

親しまれてきた「間中」の名を未来へ繋ぎ、美しい「御幸の浜」と共に、リハビリ特化病院として新たな一歩を踏み出します。もちろん、日々の外来診療や退院後の訪問診療にもこれまで通り注力。充実したリハビリと、入院から在宅までの切れ目のないトータルサポートで地域に寄り添い続けます。

1906年(明治39年)の開院以来、小田原の地に根ざした病院として地域の皆様と共にその歴史を歩んでまいりました。
小田原を愛する職員が一丸となって、全ての患者様に対して良質な医療を提供できるよう努力してまいります。



2027年夏、新病棟オープンを予定 (イメージ)



リハビリテーション室

急性期治療を終えた方

回復期リハビリテーション病棟



病室

様々なアプローチで在宅復帰を支援します



急性期治療を終えた方に対し、主に寝たきり防止、日常生活動作の改善、社会復帰(家庭復帰)を目的として、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が共同で一人ひとりに合ったプログラムを作成し、リハビリテーションを中心に治療を進めていく病棟です。



01

365日切れ目ないリハビリが可能

02

口から食べることを大切に！経管栄養から経口摂取へ

03

小田原城周辺や海岸沿いなどでの野外リハビリも行います



軽症・中等症の高齢者救急

地域包括医療病棟



病室

軽症・中等症の高齢救急患者を受け入れ、**早期在宅復帰**を目標に、**治療、リハビリ、栄養管理、入退院支援**などを包括的に提供する病棟です。当院では肺炎、心不全、骨折術後、がん末期などの安定し回復期/フレイル・認知症合併の治療や、筋力低下などがあり、退院に向けもう少しリハビリが必要な方に対し、多職種で連携しながら退院調整を行っていきます。



小田原城を望む窓からの景色

対象となるケース

地域包括医療病棟は、主に救急搬送された方やご自宅等で状態が悪化した方を受け入れする病棟です。

訪問診療との連携

自宅や施設への退院にあたり、緩和ケアなど自宅での療養を希望する、通院が困難であるなど、患者さんの状態により訪問診療へのご紹介が出来ます。

まなりは、「口から食べることを大切にします

POINT.1 嚥下機能評価検査の実施
「飲み込む力」を正しく知ることから。詳細な検査で、無理のない食事支援を。
「食事中にムセる」「飲み込みにくい」といった症状は、誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)のリスクとなります。当院では、医師と言語聴覚士が連携し、専用の検査機器を用いた精密な評価を行っています。

POINT.2 経管栄養から経口摂取へ
もう一度、口から食べる喜びを。「その一口」への挑戦を諦めません。
脳卒中の後遺症などで、胃ろうや経管栄養となった患者様でも、適切な訓練を行えば再び口から食べられる可能性があります。可能な限り経口摂取への移行を目指した粘り強い支援を行います。

- 嚥下内視鏡検査(VE)**
鼻から内視鏡を挿入し、喉の動きや食事の残留状況を直接観察します。
- 嚥下造影検査(VF)**
レントゲン透視下で造影剤を含んだ模擬食品を飲み込み、嚥下運動を映像で解析します。これらにより、目に見えない喉の動きを可視化し、安全に摂取できる食事形態や姿勢を医学的根拠に基づいて決定します。

POINT.3 歯科衛生士が常駐
口腔内のチェックで自分で食べるを実現！
病棟には歯科衛生士が在籍しており、入院時に口腔内のチェックを行っております。義歯や歯の困りごとをご相談ください。訪問歯科の受診へつなげることが可能です。食事摂取や嚥下訓練をすすめていけるよう、口腔内環境が良好に保てるよう、お手伝いさせていただきます。

POINT.4 口から食べることの大切さ
「おいしい」は生きる力。栄養補給以上の大きなメリットがあります。
点滴やチューブの栄養ではなく、自分の口で噛んで食べることは、身体と脳に前向きな変化をもたらします。

リハビリテーション見学



当院では、回復期リハビリテーション病棟および地域包括医療病棟に入院中の患者様・ご家族様に向けて「リハビリ見学」を実施しております。実際の訓練の様子をご覧ください。今後の回復の道のりや退院後の生活をイメージしやすくなります。



退院前・退院後の手厚いフォロー

ご自宅での生活を見据え、退院前に入念な準備から退院後のケアまで。患者様ご本人はもちろん、ご家族の不安も解消し、「住み慣れた家で暮らし続ける」ための伴走をいたします。

退院前

退院前合同カンファレンス

退院後も患者様やご家族がご自宅で安心して暮らせるよう、サポート体制を整える会議です。病院スタッフと退院後の生活を支える多職種が集まり、今後の生活や必要なサービスについて話し合います。事前にお伺いしたご希望をもとに、ご自宅での細かなケア内容までしっかりと準備を行います。



社会福祉士によるヒアリング

当院では入院時に社会福祉士の資格を持った職員がヒアリングを行います。高齢者、障がい者、生活困窮でお悩みの方などへ対し、専門性の高い福祉サービスへ繋げることが可能です。



事前家屋調査

退院後の生活に不安を残さないよう、必要に応じて担当のリハビリスタッフがご自宅へ伺います。実際の生活環境を確認した上で、家屋改修のアドバイスや、自宅環境に合わせた実践的な動作訓練を入院中から行います。スムーズで安全な在宅復帰を、現場目線でサポートします。

※家屋調査が必要な方のみ実施します。



退院後

訪問診療

訪問診療は病院への通院が困難な方に医師がご自宅にお伺いし、医療を提供します。住み慣れた場所で、自分らしく最期まで患者様と共に歩める医療をお届けします。



訪問リハビリテーション

ご自宅に戻った後も、身体機能の維持・向上のためにリハビリ専門職が訪問します。退院直後の不安な時期に、患者様の身体状況を把握したスタッフが関わることで、病院から在宅への移行がスムーズになります。



レスパイト入院

介護をされているご家族の休息や負担軽減を目的として、在宅療養中の患者様が一時的に入院できる制度です。入院中リハビリテーションが可能で、1回あたりの最大入院期間は14日間です。



まなカフェ(介護相談会)

『まなカフェ』は認知症や介護について、学びを深め、医師や看護師に気軽に相談できる無料のイベントです。介護や医療に関する悩み事を遠慮なくお聞かせください。



地域連携室

当院を退院した後も自分らしい生活が安全に送れるよう、地域の医療機関、介護サービス事業所との連携や意思決定を支援し、入院から退院までの調整を行う相談窓口です。

☎ 0465-43-8730

